

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード		624		施策		交通環境の整備				
管理事業		交通対策事業				所管部局		土木部		
1	所管 室課	総務交通室				事業名	交通安全対策事業			
事業概要										
交通事故をなくす運動、迷惑駐車対策										
活動実績						年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
交通事故発生件数						決算額 (千円)	1, 461	4, 811	7, 651	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
令和 3 年中	755件					一般財源 の	100. 0	100. 0	100. 0	■ 有効性
令和 4 年中	720件					比率(%)				☐ 効率性
令和 5 年中	689件					事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性
令和 6 年中	749件					交通事故の根絶には市と警察が推進の主 体となり、関係機関とも連携を図りなが ら継続して実施していくことが重要であ る。 違法駐車を取り締まりは警察の所管であ るが、違法駐車防止に関しては市民や 地域の連携が必要である。啓発部分に関 しては市が担っていく必要があり、今後 も継続して事業を行う。				☐ 持続可能性
										今後の実施計画 の方向性・内容
										継続

2	所管 室課	総務交通室	事業名	公共交通施設等対策事業			
事業概要							
地域公共交通活性化、コミュニティバス運行、交通バリアフリー推進、交通バリアフリー化整備補助、鉄道施設等耐震補強補助、交通 対策検討							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
・コミュニティバス利用者数 (千里丘地区) 令和4年度・・・159,327人 令和5年度・・・176,530人 令和6年度・・・182,857人 (千里山地区) 令和4年2月17日 試験運行開始 令和4年度・・・77,393人 令和5年度・・・97,940人 令和6年度・・・107,327人 ・地域公共交通協議会開催数 令和4年度・・・2回 令和5年度・・・3回 令和6年度・・・2回 ・バリアフリー懇談会及び推進協議会開催数 令和4年度・・・1回 令和5年度・・・3回 令和6年度・・・3回 ・交通バリアフリー化整備補助件数 令和4年度・・・2件 令和5年度・・・4件 令和6年度・・・3件			決算額 (千円)	75,702	75,520	83,613	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	99.8	99.8	90.5	■ 有効性 ■ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			□ 公平性 ■ 持続可能性	
			・千里山地区コミュニティバスは令和6 年度から本格運行へ移行した。 ・交通事業者の担い手不足等により経営 状況が厳しいなか、市民の移動手段として 公共交通を維持する必要がある。 ・法改正に対応するため、バリアフリー マスタープラン作成や基本構想の見直し を実施している。 ・補助金は交通事業者の計画に影響を受 けるため、事業費の平準化が難しい。 ・令和6年度の一般財源の比率は令和5 年度からの繰入金のため減少した。			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	624	施策	交通環境の整備
管理事業	総合的自転車対策事業	所管部局	土木部

1	所管 室課	総務交通室	事業名	千里ニュータウンプラザ管理事業（自転車駐車場）			
事業概要							
千里ニュータウンプラザ施設管理							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
南千里駅周辺再整備により移設された阪急南千里駅前西第2自転車駐車場の千里ニュータウンプラザ設計建設・管理維持費			決算額 (千円)	35,757	36,037	35,294	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	■ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			当施設は、原付のみ駐車可能であるため 利用率が横ばいとなっていたが、収容台 数を見直し令和2年4月から自転車の受 け入れを行っている。				今後の実施計画 の方向性・内容
							継続

2	所管 室課	総務交通室	事業名	千里山駅前自転車駐車場整備事業			
事業概要							
千里山駅前自転車駐車場整備							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
平成27年度から令和11年度までの期間、阪急千里山駅前東自転車駐車場の整備にかかる長期割賦分を都市再生機構へ支払う。			決算額 (千円)	2,537	2,537	2,537	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	■ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				
			阪急千里山駅周辺において平成25年7 月に自転車駐車場が供用開始したこと で、放置自転車等が減少している。 都市再生機構の直接施工制度によるた め、都市再生機構への長期割賦分の返済 が令和11年度まで残る。				今後の実施計画 の方向性・内容
							継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	624	施策	交通環境の整備
管理事業	総合的自転車対策事業	所管部局	土木部

3	所管 室課	総務交通室	事業名	総合的自転車対策事業（交通対策）			
事業概要							
総合的自転車対策（交通対策）							
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
放置自転車の移送台数		決算額 (千円)	120,050	126,604	117,078	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割	
令和3年度 3,508台 令和4年度 3,485台 令和5年度 3,503台 令和6年度 3,836台		一般財源 の 比率(%)	93.7	93.5	93.0	☒ 有効性 ☐ 効率性	
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☒ 持続可能性	
		放置自転車等の移送台数は減少している。しかし、一部地域では放置自転車に関する要望が多く寄せられることから、今後も放置防止活動等を継続する。				今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	

4	所管 室課	総務交通室	事業名	総合的自転車対策事業（自転車駐車場）			
事業概要							
総合的自転車対策（自転車駐車場）							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
自転車駐車場の利用率			決算額 (千円)	448, 808	599, 960	563, 517	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
令和3年度	73.9%		一般財源 の 比率(%)	20.4	20.4	33.4	■ 有効性
令和4年度	76.5%						■ 効率性
令和5年度	78.4%						☐ 公平性
令和6年度	85.9%						■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			事業目的である放置自転車の減少につな がっており、今後も自転車駐車場運営と 放置自転車の移送や放置防止指導との連 携が必要な事業である。 施設及び設備等の老朽化や人件費の高騰 により、維持管理コストが増加してい る。 近年の電動自転車の普及により、従来の 駐輪装置が適合しないケースが増えてお り、多様化するニーズへの対応を迫られ ている。				継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名